

山梨県立博物館

Yamanashi Prefectural Museum

交

い

かいじあむ通信

kai

第50号

令和元年8月23日発行
山梨県立博物館

法然上人絵伝(第二幅)
当館蔵



秋期企画展

法然上人絵伝

～親鸞が追い求めた師の姿～

2019.10.12日～11.25日

法然上人の生涯を描いた絵伝。最古級の作品が山梨に!

浄土宗を開いた法然は、「南無阿弥陀仏」と唱えることのみであらゆる人は救われると説きました。法然の教えや生涯の事績は弟子たちにより語り継がれ、浄土真宗では、宗祖・親鸞の師である法然の生涯を描いた「絵伝」を大きな掛軸にし、その教えを広めたのです。山梨県立博物館所蔵の重要文化財「法然上人絵伝」は、甲州市勝沼町の浄土真宗寺院万福寺に伝わったもので、掛軸形式の絵伝の中では最古級の作品として知られています。本展では、3年間の修理を終えた本作を修理後初公開いたします。描かれている伝説的なエピソードの数々をじっくりとご覧ください。

伝説その①

長承2年(1133)、美作国(現在の岡山県)に生まれた法然。9歳で父親を殺されてしまいます。幼いながらも放った矢が敵の顔に命中! ...その後、父親の遺言に従い出家の道へ。



子どもの頃から
すごい!

伝説その②

比叡山で修行の道へ。あまりの賢さに「文殊菩薩」と呼ばれた幼い頃。



伝説その③

修行していると普賢菩薩がやってくる!



いろいろな
教えを学ぶ!

伝説その④

修行していると密教法具も飛んでくる!



伝説その⑤

華嚴経を唱えれば、守護神の龍が蛇になってやってくる!



すごいぞ法然 この秋、あなたは 伝説の目撃者になる

伝説その⑥

夢の中で憧れの善導大師(法然がその教えに心酔した中国のお坊さん)と対面!



伝説その⑩

建暦2年(1212)、多くの人々に見守られ、臨終の時を迎える法然。



阿弥陀如来や
たくさんの菩薩たちに
迎えられ、浄土へ

伝説その⑨

九条兼実(当時の有力な貴族)は見た! 法然が頭から光を放ち、足元に蓮華が生じて宙に浮くのを!



伝説その⑧

右目と口から光を放つ!



伝説その⑦

厠(お手洗い)の中でも念仏を唱える法然。



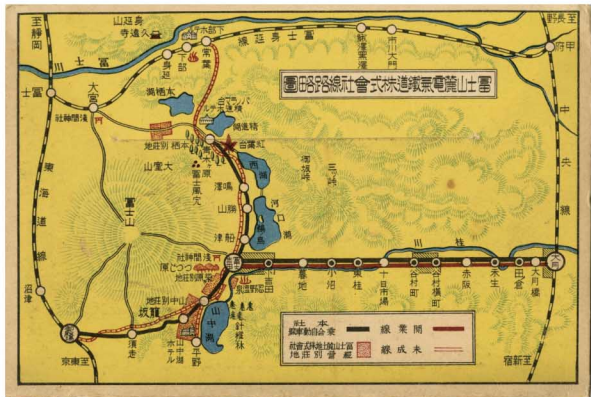
念仏は時も場所も
選ばないのだ!

学芸員 おすすめの一品

収蔵資料の見どころを
ご紹介します。

今年で開業 90 年

大月駅から現在の富士山駅（当時は富士吉田駅）へ向かう富士山麓電気鉄道（現在の富士急行大月線）が開業してから、今年で90周年を迎えます。



はがきの外袋に表された路線図

この人が作りました

富士山の観光開発を目指していた堀内良平（笛吹市出身）が完成させました。この鉄道と前年に全線開業の富士身延鉄道（現在の身延線）は、「甲州財閥」の小野金六（韮崎市出身）や根津嘉一郎（山梨市出身）らにも協力を得て実現しました。



堀内良平肖像



念記通開
社 會 式 株 道 鐵 氣 電 麓 山 士 富

はがきの外袋に描かれた富士山と電車

どんどん便利になる山梨の交通網 「富士山麓電気鉄道株式会社 開通記念郵便はがき」 昭和4年（1929）

常設展

「巨富を動かす」

この期間に
会える！
10月24日～
12月16日



はがきに印刷された富士山と本栖湖

富士山を ぐるりと回る電車

路線図を見ると、富士吉田駅から上下に赤い「未成線」が出ており、御殿場駅（当時は東海道線）と常葉駅（現在の甲斐常葉駅）につながっています。計画通りに完成していたら、東海道線と身延線と合わせて、富士山をぐるりと回るように電車が走っていたのです。

「富士五湖」全国デビュー

「富士五湖」という名称が一般的になったのは、堀内が新聞社の「日本新八景」コンテストに五湖をまとめて登録し、湖沼の部で第1位を獲得したことがその由来となっています。

その頃、中央線は…

まだ蒸気機関車が活躍していた中央線では、トンネルでの煙やパワー不足に対応するために電化工事が進められ、昭和6年（1931）に甲府まで完成しました。この昭和時代の初期は、現在の山梨の鉄道ネットワークが完成した時期でもあります。



「中央線電化記念写真帖」に掲載されたトンネル内の電線取り付け工事写真（当館蔵）

港・ヨコハマ 160 年前のにぎわい 「神名川横浜新開港図」 万延元年（1860）

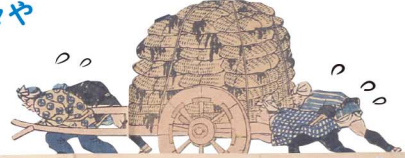
シンボル展
「甲州屋忠右衛門の冒険」

この期間に
会える！
12月21日～
2月24日

日本を代表する国際貿易港、横浜。その始まりは安政6年（1859）の開港までさかのぼります。小さな漁村だった横浜は、開港によって短期間のうちに大変貌をとげます。この絵図は、開港から間もない頃の横浜のメインストリート本町通りを描いたものです。八代郡東油川村（現在の笛吹市）の篠原忠右衛門（当時数え年で52歳）は、甲州の特産品を売り込んでひともうけをしようと、遠く離れた横浜に甲州屋を出店しました。その挑戦の行方は!?



外国との貿易のため、多くの人々や
商品が横浜に集まってきた!



つかまえられるかな!?

1年前と様子がぜんぜんちがうぞ!?

忠右衛門のお店はこのあたり

甲州名産の生系などを扱っていました。

ヨコハマの街の中から
さがしてみよう!

海には大きな外国船が!
横浜で日本の生系を
仕入れて大もうけだ!

甘いアメだよ!

神奈川港御貿易場御開港御役屋敷並町々寺院社地二至る迄の大絵図（部分、当館蔵）

県立博物館では、約2か月ごとにテーマを変えて、常設展の展示替えをしています。

「ようこそ!かいじあむ動物ワールドへ」

2019.7.24[水]~10.22[火]

今、身近な動物といえばイヌやネコ。昔は他にも多くの身近な動物がいたよ。人と動物の関係を資料と作品を通して紹介!

「レキシ・トラベル to かいじあむ」

2019.10.24[木]~12.16[月]

秋の行楽シーズン到来。今も昔もお出かけの行先やルートはいろいろ!資料を通して歴史をめぐる旅に出発しよう!

「年の初めはかいじあむ」

2019.12.18[水]~2020.2.17[月]

新年あけましておめでとうございます。山梨のお正月はどんなものかな?博物館でお正月を楽しもう!

「山梨の春は、桃と桜と信玄公」

2020.2.19[水]~4.20[月]

桜舞う春のなか、山梨ゆかりの戦国武将である武田信玄にまつわる資料をどうぞご覧あれ!

シンボル展 2019.12.21[±]~2020.2.24[月]

甲州屋忠右衛門の冒険

—ミナト・横浜を目指した商人たち—

今から160年前、安政6年(1859)に横浜が開港しました。甲斐国八代郡東油川村(現在の山梨県笛吹市石和町)の篠原忠右衛門は、甲州の特産品を外国人に売り込むために甲州屋を横浜に出店し大きな利益を上げました。本展では、幕末から明治期にかけての大きな時代の変化のなかで、西洋文化と出会い、外国人との交易のさきがけともなった甲州屋忠右衛門の冒険をたどっていきます。



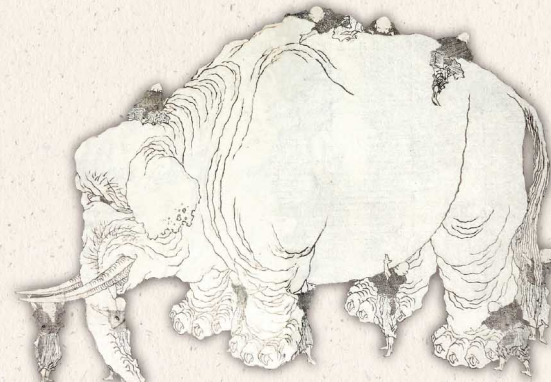
甲州屋・篠原忠右衛門写真(当館蔵)

2020.3.14[±]~5.11[月]

浦上コレクション 北斎漫画

~驚異の目、驚異の筆~

「富嶽三十六景」と並び称される、北斎の代表作『北斎漫画』。日常生活のなにげないひとコマから、神仏や妖怪、自然現象といった目に見えないものまで、北斎はその圧倒的な眼力と画力で小さな画面のなかに再現してみせました。誰もが思わずあっと驚く北斎の世界、お楽しみに!



「北斎漫画」(部分、当館蔵)

イベントのご案内 2019.10月~2020.3月

① 常設展スルーガイド

常設展のガイドツアーです。
毎週土曜日 11:00~11:30

② 館長トーク

当館の守屋正彦館長による講座です。
開催日 10/20、12/15、2/16
時間 13:30~15:00

③ かいじあむ古文書講座

初めて古文書を学ぶ方のための講座です。
開催日 10/26、11/30、1/25、2/22
時間 13:30~15:00
*申込み(TEL.055-261-2631)

④ かいじあむ子ども工房

博物館ならではの体験や工作ができます。
開催日 10/12、11/9、1/11、2/8、3/14

⑤ 遊ぼう!学ぼう!寺子屋ひろば

展示や歴史を楽しみながら学べる体験イベントです。
毎週日曜日 11:00~11:30

⑥ ボランティアによるお庭の見どころガイド

四季折々の博物館の庭を散策します。
開催日 10/19、11/16、12/21、1/18、2/15、3/21
時間 13:30~14:30

⑦ 古文書相談日

お手持ちの古文書についての相談を承ります。
開催日 11/10、1/12、3/8
時間 10:00~13:00
*古文書の全文解読や、資料の鑑定などはお受けできません。
*申込不要ですが、事前のご連絡があれば対応がスムーズです。
(TEL.055-261-2631)

⑧ その他イベント

*イベント毎に内容は異なります。
・かいじあむの秋まつり 11/20(県民の日)
・かいじあむのお正月 1/2・3

2019年

10月							11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5					1	2	1	2	3	4	5	6	7
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28
27	28	29	30	31	24	25	26	27	28	29	30	29	30	31						

法然上人絵伝 10/12 ~ 11/25

甲州屋忠右衛門の冒険 12/21 ~

2020年

1月							2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4						1	1	2	3	4	5	6	7
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	8	9	10	11	12	13	14
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	15	16	17	18	19	20	21
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	22	23	24	25	26	27	28
26	27	28	29	30	31	23	24	25	26	27	28	29	29	30	31					

甲州屋忠右衛門の冒険 12/21 ~ 2/24

北斎漫画 3/14 ~ 5/11

- 休館日
- 館長トーク
- 古文書講座
- 古文書相談日
- 子ども工房
- お庭の見どころガイド
- その他イベント

各イベントの詳細は当館ホームページなどでご確認ください。日程や内容は事情により変更になることがあります。



山梨県立博物館の旬な話題をお届け！

かいじあむトピックス

モノが歴史資料になるとき「資料整理」

山梨県立博物館では古文書の整理作業をおこなっています。様々な事情で博物館にやってきた古文書1点1点の年代や内容、保存状態を確認し、さらにその情報を専用の封筒に記入して、古文書を入れていきます。古文書のなかにはくずし字が読みづらいものもありますが、それはスタッフが相談をしながら解説をしていき、最終的には目録を作成します。古文書の数は1つの資料群だけで数千点に及びケースもあり、時間と根気が必要な作業です。



整理を始める前は、いつ、誰が、誰に、どんな内容で書いたのか、所有者からの聞き取り以上のことは不明です。しかし、整理作業によって古文書の内容が明らかになったとき、それまでモノとして扱われてきた古文書が、歴史を語る「歴史資料」として生まれ変わります。その内容には、これまで知られていなかった歴史的事実が含まれている可能性もあるのです。現在の歴史研究の成果は、こうした整理作業の積み重ねによるものです。

古いお蔵などの片づけ作業中に古文書が発見されることがありますが、内容が分からず困ることがあるかもしれません。そんなときは、当館で定期的(奇数月の第2日曜日)に開催している「古文書相談日」にてご相談ください。スタッフ一同、心よりお待ちしております。

利用案内

開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日 火曜日(祝日の場合はその翌日)
9/11～13、12/14、12/25～1/1は休館。

観覧料 常設展：一般510円、大学生210円

*10/1より消費税率改定に伴い、観覧料の変更を予定しています。

*高校生以下の方、65歳以上の方、障害者の方(およびその介護をされる方)は無料です。

*企画展には別途観覧料が必要です。県外在住の65歳以上の方は企画展観覧料が必要です。

かいじあむ通信「交い」第50号

〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田1501-1

Tel: 055-261-2631 Fax: 055-261-2632

E-mail: kenhaku@pref.yamanashi.lg.jp

URL: <http://www.museum.pref.yamanashi.jp>

発行日: 2019年8月23日

編集・発行: 山梨県立博物館



山梨県の古い国名「甲斐国」の語源は街道と街道の結節点を意味する「交ひ(かい)」であるという説があります。山梨県立博物館が「甲斐」の博物館にふさわしく、人々や情報の交流の拠点となることを願ってこの名前をつけました。

ホームページQRコード